



コミュニティ だより

あけほの

平成 25 年 7 月 1 日現在	
人口	15,374人
男	7,615人
女	7,759人
世帯数	5,410戸

平成二十五年度

六合コミュニティ委員会総会開催

四月三十日、午後七時より六合公民館多目的ホールにおいて、平成二十五年度コミュニティ委員会総会が開催されました。総会では、二十四年度の事業及び収支決算が報告され承認さ

れました。また昨年度の規約の改正や、本部役員をはじめ委員が力を合わせて努力した結果、以前の活気あるコミュニティに戻りつつあると総括しました。その上に立って、現在市内で

意義あるコミュニティへ更なる成長を!!

(会長挨拶)



会長 鈴木政隆

六合地区の皆様は、もっと、自覚を持たれて市に積極的に主張していく必要があります。

今年度は、皆様の強い要望で『入学を祝う会』を復活していきます。敬老会は、他のコミュニティ委員会では行われていない素晴らしい事業です。

また、本年度から五十周年記念事業準備委員会を立ち上げていきます。『五十周年記念誌』を六合の未来を担う子供達に見せることができるようにしていきたいと思えます。子供から高齢者まで住みよい六合になるよう協力し合って頑張っていきたいと思います。

昭和四十七年に発足した六合コミュニティは、四十一年目を迎えることになりました。平成二十四年度の規約改正の効果がようやく軌道に乗りつつあります。しかし、六合地区住民の皆様にとつてもなじみ深い過去のコミセンの印象は戻っておりません。本部役員は、以前のような親近感のあるコミセンになるように努力しています。六合コミュニティは、島田市の中で飛び抜けて大きな団体です。

平成25年度 本部役員



後列左から 曾根 鋭治(副会長) 松浦 光一(会計) 桜井 保夫(書記)
前列左から 大久保陽一(副会長) 鈴木 政隆(会長) 九島 文夫(副会長)

最も大きく、最も活発に活動を展開しているコミュニティとして、さまざまな事業を通じて情報を発信していくこと、また来るべき五十周年に向けて記念事業準備委員会の設立、教育文化

講演会、入学を祝う会、親子映画教室などの新たに取り組む事業を含めた平成二十五年度方針が提案されました。この方針は参加者の満場一致で承認されました。



平成 25 年度 六合コミュニティ総会

文化部

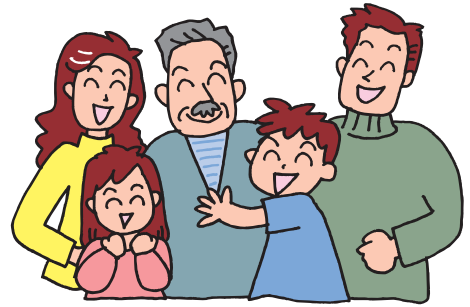
部長 古戸 茂

文化部は今年度の事業として、恒例となりました「ほたるの里コンサート」秋の「文化祭」に取組みます。

「ほたるの里コンサート」は六月十五日に東光寺本堂にて、ハーモニカの演奏と東光寺住職辻亮駿氏の講演を行います。

コンサートの後、帰宅されるおりに、まだ早い夏の宵に東光寺谷川に舞うほたるの放つ淡い光を鑑賞して頂くことになるでしょう。

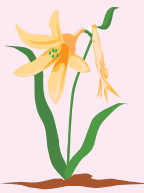
文化祭は、日頃公民館を利用



されている皆様が主役です。多くの力作の出版、出品をお待ちしております。

ロクティ及び六合小学校体育館で展示しますが、館内では子供達の為に「スタンプラリー」が行われ、又喫茶コーナー、試食コーナーも用意され、家族みんなで文化に触れ、楽しめる秋の一日となるような場にしていきますと思います。

多くの皆様の参加を心待ちにしています。



レクリエーション部

部長 原崎 静枝

六合で生まれ育ち、沢山の年齢を重ねてきました。小学校へ通う頃は、道すがら見える家々は田んぼの中に点在しているという程度でした。六合も人が増えていき、鉄道駅が出来、事業所も増え、大型店舗も沢山出来ました。

今年、六合コミュニティが発足して四十一周年と伺いました。四十一年の間コミュニティ活動の中でお互いの顔を知り、言葉を交わし、友情が生まれていきました。更なる友情を築くべく、我がレクリエーション部も十八名で四月に出発致しました。六月にはAED講習会を開催します。

多くの人が集う場面もあり、救命の応急手当を学びます。

八月 六合夏祭りに参加
九月 緑道除草作業への参加
十一月 親子マス釣り大会
一月 AED講習会
(本年度二回目)

体育振興部

部長 石神 強

スポーツに参加してスリムになろう今年度のスポーツは、新スポーツの普及活動のもとで、次の四種目が紹介されました。(スポーツを勉強・体験する講習会)

- 一、トランポウオーク
- 二、ファミリーバドミントン
- 三、バールンバレー

四、ビーチボール
早速四月の定例会で話し合いました。いろいろな意見はありましたが、一のトランポウオークに決定しました。用具は直径八六cm高さ二〇cm重さ六、五kgのジョグと呼ばれる円形のトランポリンを使用する有酸素運動です。小学生から高齢者まで、気軽にできるスポーツです。

は、八月の夏まつりへの出店、続いてコミュニティ緑道の除草作業、十一月一日のトランポウオーク、年が変わって二月二日のインディアカ大会など計画されています。今年部員は十八名で構成されています。皆さん楽しくスポーツが出来るように、部員一同務めさせて頂きます。日程が近くなりましたら、回覧でお知らせしますので、皆さんの参加をお待ちしております。

健康福祉部

部長 富澤 富二雄

このたび、突然の指名に戸惑いつつ部長に就任しました、というのが本当のところでした。何もわかっていない私でできるのかな、と私自身が一番不安を感じています。

日頃は仕事に追われ、忙しい毎日を送っていますと、自分の

健康のことはもとより、地域に与える「健康」や「福祉」について考えることなどありませんでした。私たちは恒例となつた事業(一戸一品抛出運動、夏まつりバザー、戦没者追悼式、老人慰問)の推進にコツコツと取り組む中で、この機会に健康と福祉について考えてみるのもいいかなと思っています。

私を含め十七名の部員の皆さん、助け合いながら進めていきたいと思います。私たちは、アドバイザーの河合さん、知識経験者の永野さん、本部役員の大久保さんのお力を借りて、健康で楽しい活動ができればと考えています。



生活安全部

部長 大塚敏博

少子高齢化の進む現代社会において地域の役割は、家庭や学校と並んでますます大きなものとなっております。私たちは、犯罪のほとんどない安全で平和な日常生活を送ることができています。しかし、その裏には警察をはじめその地域に住む人々の

努力と協力があるということをお忘れてはなりません。自分たちの平和は自分たちで守る、という原則のもとで成り立っています。言い換えれば、私たちは地域社会に「生かされて」いるのです。

生活安全部では、地域住民の安全で安心できる生活を支えるために、警察と連携し、年間を通して六合地区の防犯パトロー

ルを実施しています。決して目立つ仕事ではありませんが、地域の皆様の協力を得て、部員一同地道に活動しています。住民の皆様の一層のご支援とご協力をお願い致します。



交通安全部

部長 河村 浩

毎年、夏まつりや文化祭などコミュニティ行事の駐車場や周辺交通整理をしています。参加される方は「あー、あー、あー、いるいるいる！」と思つて頂けたでしょうか？

今年のコミュニティは全部で六十二の事業が計画されてい

ます。もちろん、その全部に私達がかかわる訳ではないのですが、私達がかかわる行事では、参加者が安心して行事に参加できることが大切なことと思つています。

中でも夏まつりのように小さなお子様からお年寄りまで全世代が参加される大きな行事では、事故なくスムーズに運営される為に交通安全部の役割はと

ても大切だと思つています。

なれない中で、部員一同多少の不安を持って、暑い中、寒い中、行事によつては雨の中、頑張りますので、皆様のご協力もよろしく願ひします。

また、温かい声掛けなど頂きますと、なお一層頑張れそうですねがします。そちらもよろしく願ひします。

女性部

部長 櫻井淳子

今年度は、部員二十三名で活動します。

六合地区では、コミュニティ発足当時からおよそ四十年間、「敬老会」と「七五三のお祝い」という二つの行事を大切にしてきました。これらの行事は、女性部の活動の中心をなしていま

す。先日の総会で、会長さんから、「敬老会を開催している地域は、島田市の中でも六合地区だけだ」とうかがい、身の引き締まる思いがしました。「七五三のお祝い」は、小学校に入学する子供さんの成長を祝う会に形を変え、今日まで続いています。

これほど長い間継続できたのは、役員の皆さんの活躍と地域の幼稚園・保育園・小学校・中

学校・高校・保護者の皆さんの協力、そして、地域の方々の参加があつてこそだと思ひます。六合地区の伝統をつなぐために、皆さんと力を合わせて頑張ります。



老人部

部長 池田國男

老人部は大きな目標として「健康、友愛、奉仕」を掲げています。心と体の健康づくりを目指し、自分たちの住む地域の環境美化活動、グラウンドゴルフ等のスポーツ行事や会員同士の親睦旅行を楽しみながら、互いに助け合い支え合う仲間作りを行います。

こうした中で良きおしゃべり相手を作ったり、時にはお互いの豊かな経験や知識を地域の為に使つて欲しいと願っています。

現在、六合地域の対象高齢者数二八〇〇名に対して、会員数は二〇名です。高齢化が進む中で、残念なことに会員数が減少の道を進んでいるのが現実です。

入会を色々とお声掛けしていますが、対象の皆様には「老人会」の名称が古く感じられたり、入会すると「役」が回つて来るのではと抵抗を感じられる方もいるようですが、お互いにご理解を頂き、助け合つて、地域に愛される高齢者として、又地域の「達人団」として活躍頂く為に、この機会に是非とも会の活動にご参加ください。

消防治安部

部長 児玉慎吾

日頃は、消防治安部（消防団）の活動にご協力頂き誠に有難うございます。

消防治安部の活動は、そのまま地元消防団活動の一部となります。全団員が一丸となり、関係各位の皆様と連携を取りながら活動しております。

主な活動は、地元各神社等の祭典警備や、冬季の夜間警戒になります。この夜間警戒には、

小学三～六年生を対象に「子供消防団」と称し、消防車に乗り体験学習を毎年行っています。また、月に二回の消防車点検の

際には、六合地区に配備された移動式投光機の点検も行つております。その他、火災・自然災害、行方不明者の捜索など、昼夜を問わず出動し、消防署と連携し六合地区の安全確保に努めております。

これら数々の活動に対して、負担を感じることや不満に思う時もあるのは事実ですが、いつたん出動・出役した際には、純粹に使命感そして奉仕の心で真剣に取り組むことの出来る組織です。

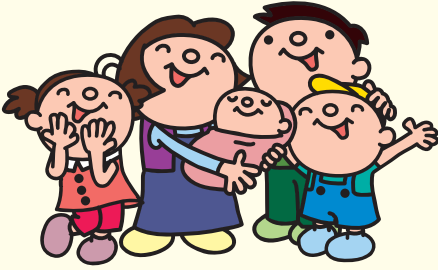
消防治安部は、他の専門部とは活動が異なりますが、今後ともご理解とご協力を宜しく願ひいたします。

六合地区全自治会で地区社会福祉協議会発足

これまで六合地区では、道悦島地区社会福祉協議会（平成二十二年一月）、岸町社会福祉協議会（平成二十二年四月）が設立され、広報誌の発行、子供と高齢者との交流等を通じ地域の福祉に貢献してきましたが、今年三月、阿知ヶ谷・東光寺地区社会福祉協議会（大石武義会長）、東町地区社会福祉協議会（提坂覚会長）が相次いで設立され、島田市では初めて地域全体での発足となりました。

構成員は、自治会役員、子供会役員、民生委員、老人会役員、その他協力者からなり、地区内における社会福祉の組織的活動を図り、地区内の住民が協力して福祉の街づくりを進めていくことを目的としています。

これにより六合地区全体が強い絆で結ばれ、みんなで支え合い、助け合う、温かく住みよいまちづくりが出来るものと思われれます。



島田市六合地区社会福祉協議会一覧

	団体名	設立年月	代表者	活動拠点
1	道悦島地区社会福祉協議会	平成22年1月	永田 宗雄	ロクティ 他
2	岸町社会福祉協議会	平成22年4月	山本文次郎	岸町公会堂 他
3	阿知ヶ谷・東光寺地区社会福祉協議会	平成25年3月	大石 武義	阿知ヶ谷公会堂
4	東町地区社会福祉協議会	平成25年3月	提坂 覚	東町公会堂

心肺蘇生法って何？

～ AED講習会実施 ～

六月一日午前九時より、ロクティ多目的ホールにて、レクレーション部主催による第一回目の「AED講習会」が、コミュニケーション委員会各専門部部长、副部长をはじめ、指導員八名のもと四十三名が参加して開催されました。

AEDとは、心臓が止まる原因となる「心室細動」に電気ショックを与え、心臓の震えを取除く機器です。

プールで溺れたり、お餅が喉に詰まったりといった事故で、突然心臓や呼吸が止まってしまった時などの場合、人の命を救う為にそばに居合わせた人が出来る応急手当を救命措置とい

講習会では、六合レスキューの指導員のもとに五、六人のグループに分かれ、ダミー人形を使用して、倒れた人への声掛けから人工呼吸、AED使用の手順まで繰り返し練習しました。

事故時の対応は、普段からあ

めることではなく咄嗟の対応が求められるだけに、繰り返し練習して慣れておくことが大切です。AED講習会は、来年一月にも予定されています。



東光寺の『猿舞』



東光寺の日吉神社で、六合小学校に通う児童二人が、日吉神社の神の使いとされる猿の面をつけて舞いました。猿舞は県指定の無形民俗文化財で、三百年以上も前から伝えられ、今年も古式ゆかしく奉納されました。

今年の舞人をつとめたのは、六年生の園田章武君と亀山永遠君で、子猿の面を被って三種の舞を奉納しました。

この日は、六合小学校四年生九十一人が総合学習の一環として、故郷の伝統行事を学ぼうと見学に訪れました。

猿舞【静岡県指定無形民俗文化財】

島田市の東光寺地区には、毎年四月十四日、日吉神社の祭典に子供二人が猿の面を付け舞を奉納する「猿舞」が伝わり、昭和五十二年十二月二十日静岡県無形民俗文化財に指定されました。猿は日吉山王権現社の神の使いとされ、記録によると古くは各地の日吉神社で猿を真似た芸能が行われていたようですが、現在、猿舞を演じているのはここ日吉神社だけで、大変珍しい芸能の一つです。

東光寺の猿舞は、かつて「猿踊り」と呼ばれ元禄年間（一六八八～一七〇四年）舞われていたとされていますが、その起源については未詳です。

猿面は、雄雌の二面で頬のくまどり線が四本で陰しさを漂わせているのが雄猿面、くまどり線が三本で穏やかな表情を浮かべているのが雌猿面です。

舞は「双々の舞」「扇の舞」「本舞」の三段からなり、笛・太鼓が奏でる曲に合わせて神輿に奉納する形で舞われます。

舞人は、東光寺地区の少年から小学生二人が選ばれ、舞台上において三段の舞を優雅に奉納します。



緑道除草作業開始

五月二十六日今年度最初の作業が行われました。

今回は緑道部と消防治安部の皆さん、お忙しい中お疲れ様でした。

七月七日、八月十八日、九月二十九日の計四回予定しています。

関係の皆さんご協力よろしくお願います。



防犯パトロール

今年も生活安全部主導のもと六合地区防犯まちづくり協力会活動として、犯罪のない安心安全な住みよいまちづくりのため、防犯パトロールを六月一日よりスタートしました。

六合地区を四人が一組になり、毎月四回土曜日に実施します。八月はお盆を除き毎日実施します。



第十八回 ほたるの里コンサート

歌声とホタルに歓声

六月十五日(土)午後七時から、天台宗東光寺本堂にて、十八回目の「ほたるの勉強会と鑑賞会」が開催されました。

コンサートは、金谷宿大学のハーモニカ講座を経て結成され、以後四年に渡って各地の老人施設などで演奏活動を続けているハーモニカグループ「島田リプルス」です。

団長の石橋和子さんと指導員の寺尾雄次さん以下総勢九名が延べ十五曲を演奏しました。

東光寺住職の辻亮駿さんからは、ホ



タルの習性や種類、そして温暖化による気候変動の影響でホタルを含めた水棲動物の生育環境が危うくなっていること、ホタルが舞うことのできる環境を守ることが人間の生きる環境を守ることに、環境保全の大切さが話されました。

会場は、お子さんの手を引いたお年寄りや家族連れが続々と詰めかけ、百六十人を超す聴衆でいっぱい。島田リプルスの演奏に合わせて口ずさむ姿が印象的でした。

心配された天気もなんとか持ちこたえ、演奏会終了後の帰路、東光寺谷川の闇の中にまたたくホタルの光にいたるところで歓声が上がっていました。

【番外編】じゅ！じゅ！じゅ！
“この二台、ナンバー見て、同じだよ”
“本当だ、珍百景へ投稿しちゃおうか”
駐車場（東光寺）での偶然の出来事でした。



写真掲載には所有者の許可を得てあります。

みんなで作る

おひ夏まつり

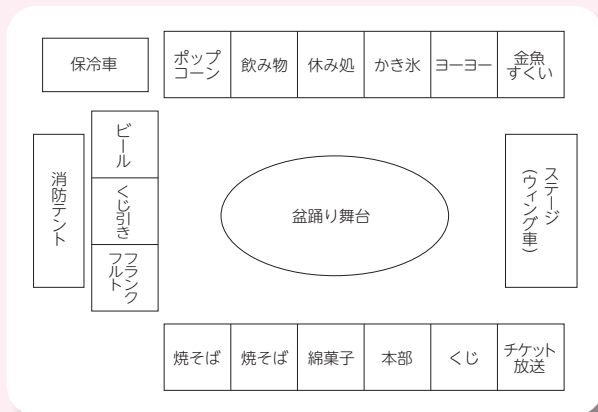
～楽しいひとときを過ごしましょう～

平成二十五年八月四日(日)

午後二時～午後七時

六合公民館駐車場

ロクティ多目的ホール(バザー会場)



平成二十四年夏まつりの様子



地域お祭り開催予定

- 7/28 東町夏祭り(五郎祭)
- 8/15 岸 大日山
- 8/18 岸町夏祭り
- 9/15 道悦八幡神社

- 10/6 岸 浅間神社
- 10/14 東町八幡神社
- 10/26 阿知ヶ谷天神
- 2/15 岸大日山



六月五日は「六合の日」

六中生あいさつボランティアを展開



によると、元気な挨拶は六合中学の自慢、これを地域にも発信、拡大し、地域の皆さんに六中生のやさしさを届けたい」と、生徒会執行部（九名）が活動を提案し、ボランティアを募りました。この呼び掛けに三十九名が応えて、この日の「六合の日」の取り組みが実現しました。

「生徒が『おはようございます』と声を掛けると見知らぬ誰もが応えてくれました」と永橋君は喜びを語ります。

用意された幟や横断幕はすでに色褪せていて長い取り組みの期間を感じさせます。「六合の日」の取り組みが長く続き、地域に大きく広がるといいですね。

六月五日、水曜日の朝七時四〇分から十五分間、六合駅南口に「あいさつは心つながる言葉」の幟と「毎月五日は『人にやさしい日』おはようございます。ありがとうございます。」の横断幕を掲げた四十八名の六中生が、通勤通学で六合駅を利用する人々を、一斉に元気な「おはようございます」の挨拶で迎えました。

六合中学校生徒会は、五月二日、生徒総会で「学校を出て一般の方々に『おはようございます』と挨拶すること、誰にでも進んで挨拶できる自分を見出し、自分自身を高める『六合の日』」を決定し、この日の取り組みとなりました。

生徒会長の永橋由人君（三年生）



古紙回収事業



三月十七日、生活安全部が主催し、コミュニティ委員会各専門部が協力して、第一回古紙回収事業が、県島田土木事務所を集積場所として総勢一七八名の参加で行われました。

これは「六合コミュニティ創立五十周年記念事業」の準備金に充てることを目的とした取り組みで、各自が近隣家庭に古紙回収への協力をお願いするという初めての取り組みでした。

各自治会毎に搬入時間を設定し、

集荷を行いました。当日は交通渋滞もなくスムーズに荷下ろしが行われ、四トンコンテナ三杯が見る見るうちに満杯となり、参加者のパワーが感じられました。古紙回収事業は初めてということ、又各部への協力依頼が二月になったこともあり、不安もありましたが、予想を上回る古紙類を回収することが出来ました。

五十周年記念事業への大きな弾みとなる取り組みになりました。



平成 24 年度 収支決算書

(平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日)

六合コミュニティ委員会 会長 鈴木政隆

(単位：千円)

収入の部	
科目	決算額
会費	8,153
補助金	2,458
雑収入	792
前期繰越金	2,231
合計	13,635
支出の部	
科目	決算額
総務部費	1,363
その他経費	3,472
事業部費	4,789
教育振興費	1,077
積立金	800
次期繰越金	2,132
合計	13,635

平成 25 年度 本部・専門部事業計画

平成 25 年 4 月 30 日 六合コミュニティ委員会

	事業名	実施日
本部	六合夏まつり	8月4日
	親子映画教室	10月11日
	緑道除草作業	年4回
文化部	ほたるの里コンサート	6月15日
	文化祭	10月26・27日
シヨクンレ部	AED講習会	6月1日 1月18日
	親子マス釣り大会	11月24日
体育振興部	新スポーツ講習会	7月5日 11月1日
	インディアカ大会	2月2日
健康福祉部	1戸1品抛出運動	7月
	戦没者追悼式	10月13日
	一人暮らし・寝たきり老人慰問	12月中旬～年末
生活安全部	防犯パトロール	平成25年6月 ～26年5月
	古紙回収	3月16日
交通安全部	各事業交通整理	年間
	交通・防犯講習会	10月4日
女性部	ボランティア活動	6月
	敬老会	9月22日
	入学を祝う会	2月9日
老人部	グラウンドゴルフ大会	4/21、7/21、9/15
	輪投げ大会	5/12、12/8、2/16
	レク・スポーツ大会	10月6日
	いきいきクラブ大会	11月10日
	歳末助け合い・共同募金	11月
	友愛訪問	2月
教育振興部	学校・幼・保 助成事業	12月
	イルミネーション	12月～2月
	教育文化講演会	

	事業名	実施日
消防治安部	新入団員講習会	4月14日
	島田市水防訓練	6月9日
	総合防災訓練	9月1日
	地域防災訓練	8月～12月
	冬季特別警戒	12月～2月
	投光機点検	毎月2回

緑道整備部 年4回 緑道除草作業

広報部 年3回 「あけぼの」発行

編集後記

コミュニティ委員は、十数年前に体育部長をさせて頂いた以来、二度目です。

今回は、六合に転居して間もなくのことでした。委員としてスポーツ大会や夏まつりの運営に参加し、多くの人々と交流し、この地域に深く馴染むことが出来ました。

六合地域は、島田市の中でも人口が増えている地域です。今回は広報部長として「あけぼの」の発行に携わることになりました。

多くの人々が、「あけぼの」を通じて六合地域や人々の活動を知り、地域の人々のつながりにより深くなる、そんな関わりに貢献できるとしたら大変嬉しいことです。

「あけぼの」は、年三回発行します。季節の彩りの中で、地域の人々の様々な活動をお伝えしていくつもりです。

地域の人々の心をつなぐ、そんな「あけぼの」を作る為に、広報部員十名が一丸となってこの一年間頑張りたいと思います。よろしくお願致します。

広報部 松浦直巳

